

# 第1回 県立高等学校改革懇談会 『湯本・遠野』

日時：令和元年 7月12日（金） 14:00～15:30

場所：湯本高等学校 大講義室

## 福島県教育委員会

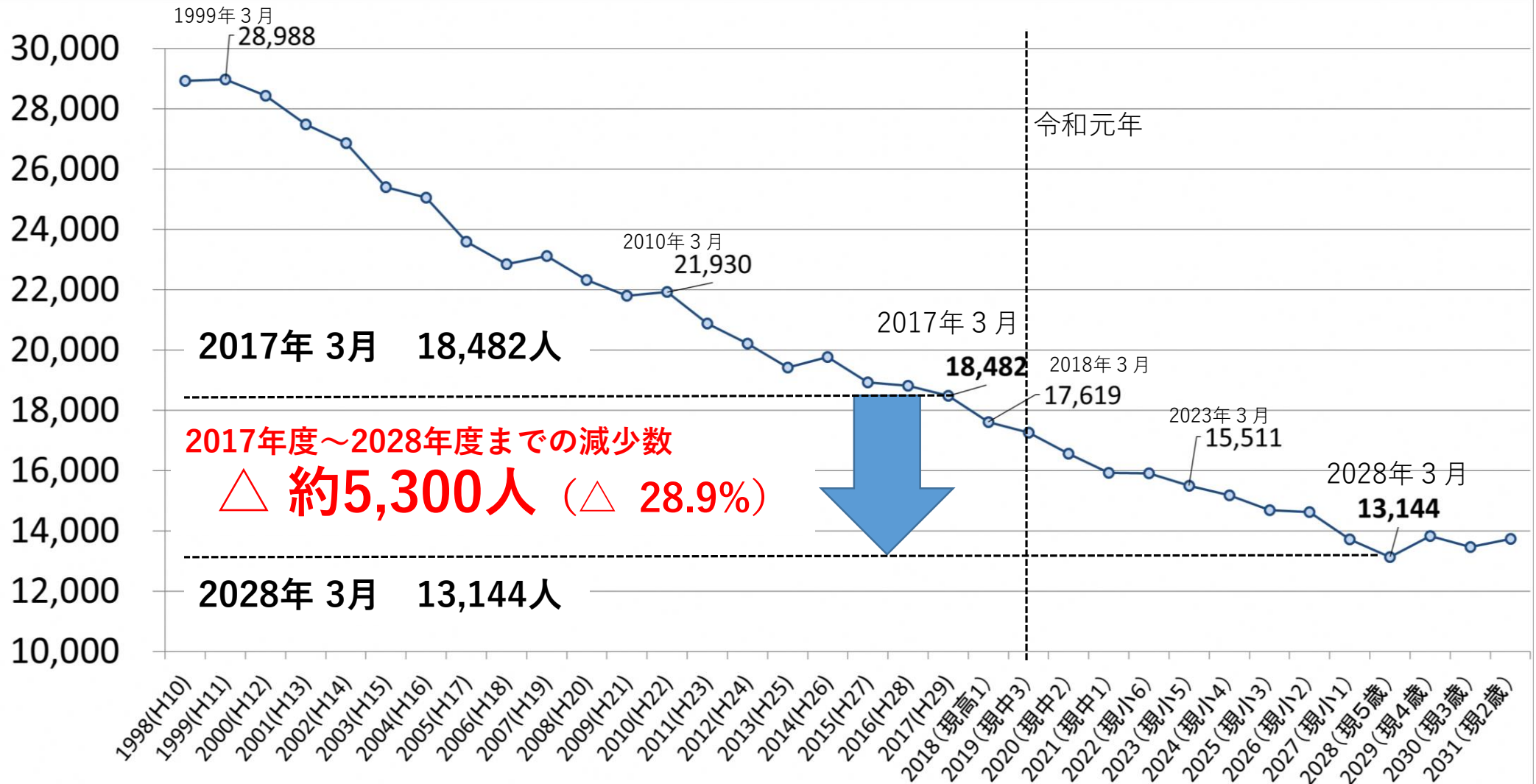
# 本日の進め方

1	県立高等学校改革前期実施計画策定の経緯
2	湯本高校・遠野高校の現在の状況
3	今後の再編整備について

# 1 県立高等学校改革前期実施計画策定 の経緯

# 少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

中学校卒業（見込）者数の推移（人）

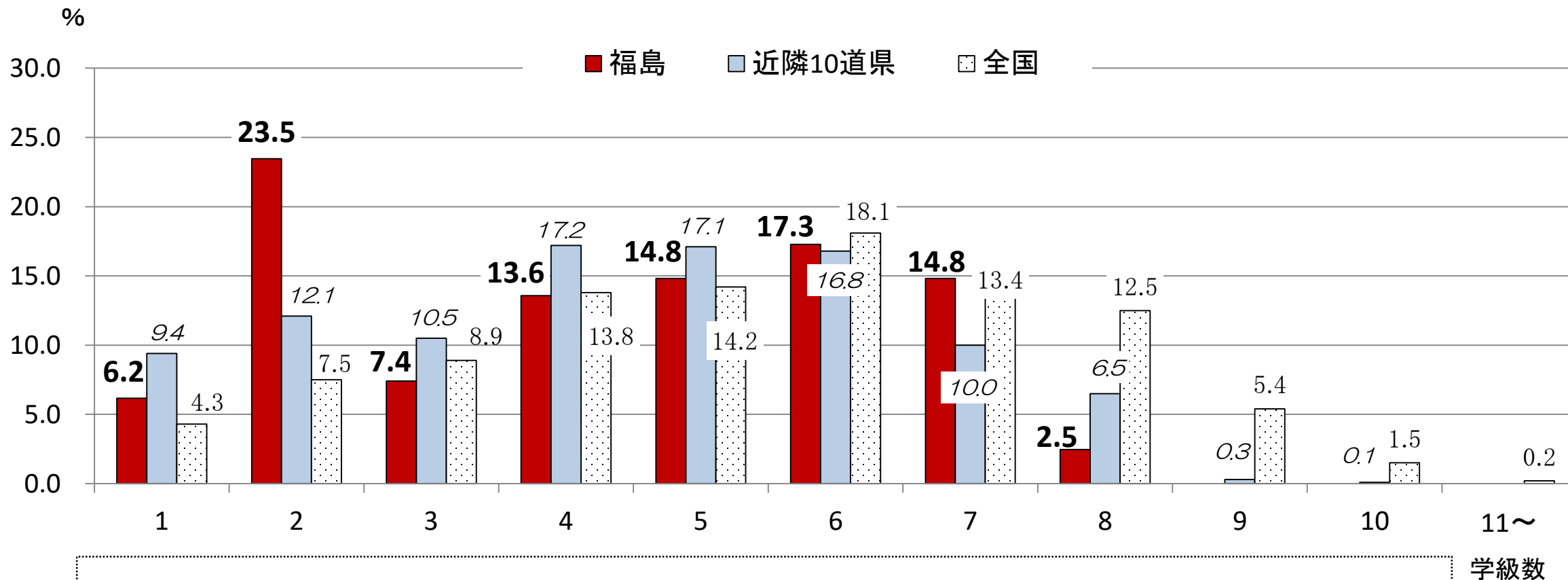


出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。  
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。  
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

（年3月卒業）

# 県立高等学校の小規模校化

1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



出典・「平成30年度全国公立高等学校第1学年定員等状況」(富山県教育委員会調べ)をもとに作成。  
分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立高等学校全日制課程の募集定員。近隣  
10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

# 本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

## 本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行**  
(中学校卒業予定者数が10年間で約5,300名減少)
- 過疎化・高齢化  
(地域コミュニティの維持が課題)
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化  
(例：主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入)
- 高等学校の小規模化  
(3学級規模以下の高校の増加)
- 生徒の**学習ニーズの多様化**  
(学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化)
- **東日本大震災と原子力災害からの復興・再生**  
(本県の復興に関わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進)



高等学校改革の必要性

県立高等学校改革計画「**第一次まとめ**」（平成9年）・「**第二次まとめ**」（平成11年）

**福島県学校教育審議会** 2017年（平成29年度）答申  
「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」



**県立高等学校改革基本計画の策定** 2018年 5月  
(2019年度～2028年度) 10年間

県立高等学校改革**前期**実施計画 (2019年度～2023年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (2024年度～2028年度) 5年間

# 県立高等学校改革の基本方針

## 基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

## 【4つの基本方針】

基本方針1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む  
高等学校教育の推進

基本方針2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

基本方針3 **学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化**

基本方針4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の  
向上



## 再編整備・魅力化の基本的な考え方①

- **学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模（1学年4～6学級）**  
1学年3学級以下の高等学校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進
- **望ましい学校規模への再編整備の推進**  
同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進  
望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進

## 再編整備・魅力化の基本的な考え方②

- 進路に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

### 6つの学校群

進学指導拠点校

進学指導重点校

キャリア指導推進校

職業教育推進校

地域協働推進校

定時制・通信制高校

# 小規模校のメリット・デメリット

## 【メリット】

- 学校がある地域の生徒が負担なく通学できる。
- 多様化する中で、少人数を希望する生徒のニーズに合っている。

## 【デメリット】

- 一定の集団規模の中で、切磋琢磨しながら社会性や向上心を育むことが難しい。
- 学級数減に伴う教職員数の減少により、多様な科目選択や部活動など学校の教育活動が制限される。

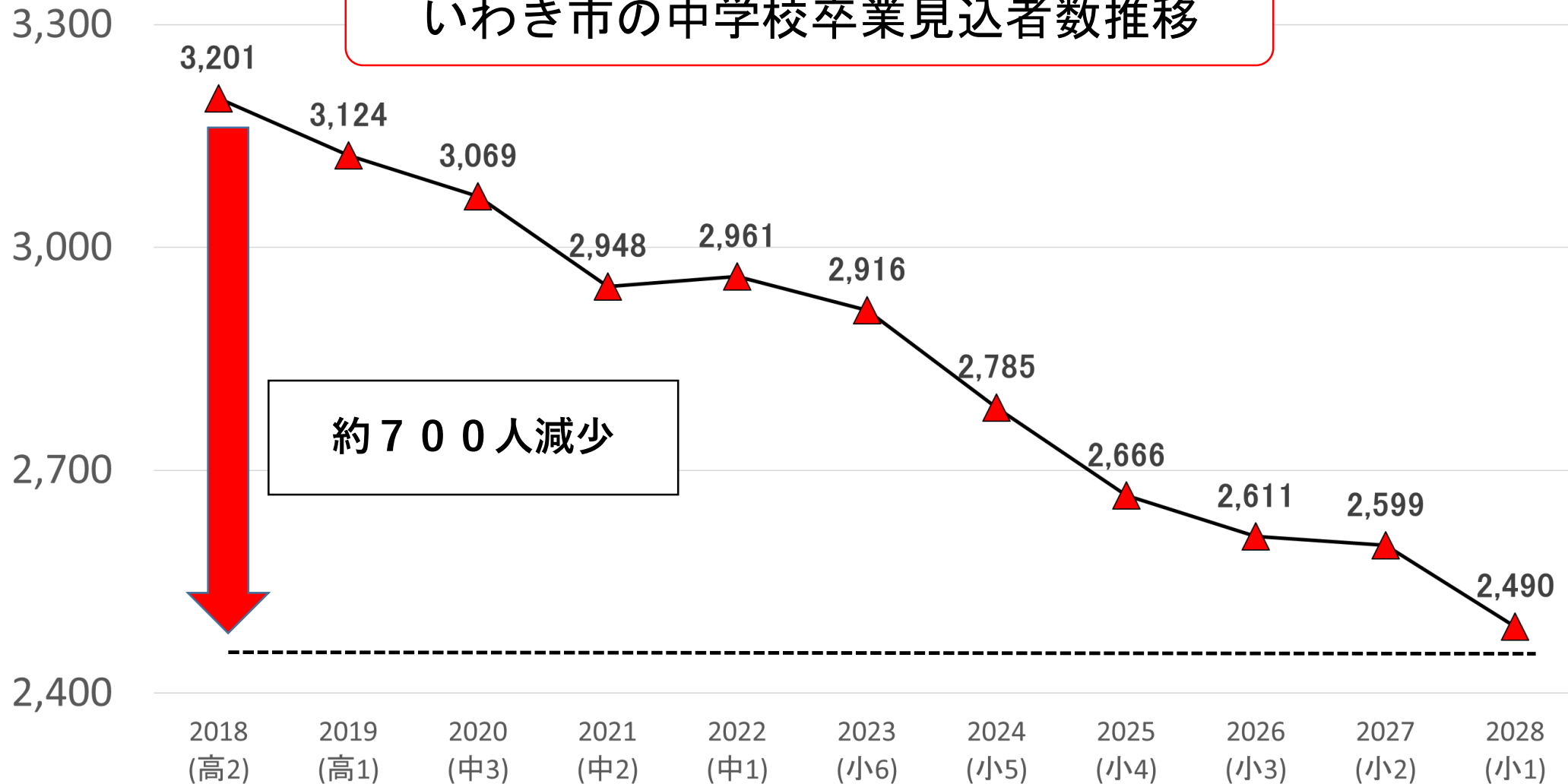
## 再編整備（統合）による効果

- 一定の集団規模を確保した望ましい学校規模の中で、生徒同士が切磋琢磨しながら向上心を高めながら、人間性を育むとともに、探究的な学びや他学科との連携など、新たな取組をとおしてより深い学びが実践できる。
- 望ましい学校規模とすることによって、教員数が確保され、多様な選択科目や部活動からの選択が可能となる。

## 2 湯本高校・遠野高校の現在の状況

# 少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

いわき市の中学校卒業見込者数推移



# 学校の沿革概要等

## 湯本高校

### ○ 沿革 (創立 78 周年)

- 昭和17年 福島県湯本実科高等女学校開校
- 昭和18年 福島県湯本高等女学校と改称
- 昭和23年 新学制により福島県立湯本高等学校と改称
- 平成元年 英語科設置(2学級)
- 平成11年 新校訓制定
- 平成13年 新制服制定 創立60周年記念式典挙行

### ○ 設置学科 (令和元年度現在)

全日制 1 学年 6 学級 計 18 学級  
・ 普通科 6 学級

○ 面積	敷地総面積	55,019m <sup>2</sup>
運動場	21,171m <sup>2</sup>	校舎敷地 18,064m <sup>2</sup>
その他	15,784m <sup>2</sup>	

## 遠野高校

### ○ 沿革 (創立 72 周年)

- 昭和23年 福島県立磐城農業高等学校上遠野分校開校
- 昭和28年 福島県立磐城農業高等学校上遠野農業部となる
- 昭和38年 福島県立遠野高等学校として昇格認可
- 平成22年 サッカーグラウンド芝生植栽 いわきサッカー協会寄付
- 平成29年 創立70周年記念式典挙行

### ○ 設置学科 (令和元年度現在)

全日制 1 学年 2 学級 計 6 学級  
・ 普通科 2 学級

○ 面積	敷地総面積	32,761m <sup>2</sup>
	県有地 4,232m <sup>2</sup>	市有地 28,529m <sup>2</sup>

# 進路状況（過去3年間）

学校要覧より

## 【湯本高校】

進路先	大学	短大	専門学校	就職	その他 (未定)	合計
卒業年度						
28	121	17	92	33	14	277
29	122	18	87	32	17	276
30	126	20	92	22	13	273

## 【遠野高校】

進路先	大学	短大	専門学校	就職	その他	合計
卒業年度						
28	2	3	11	36	0	52
29	2	1	12	35	1	51
30	3	0	16	26	0	45



## 【湯本高校】

### • 運動部

水泳 バドミントン テニス  
サッカー 弓道 ソフトボール  
剣道 陸上競技 ソフトテニス  
野球 バスケットボール 卓球  
バレーボール

### • 文化部

写真 美術 合唱 華道 茶道  
書道 ESS 理科 文芸 社会  
吹奏楽 フラダンス

- 音楽同好会
- かるた同好会

## 部活動

## 【遠野高校】

### • 運動部

バドミントン サッカー  
卓球 バレーボール

### • 文化部

合唱 商業研究

- 百人一首同好会

# 入学状況

年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
募集定員 上:普通 下:英語	280 40				240 40	280 40	240 40				240 英語科 募集停止	240 —	240 —
入学者数 上:普通 下:英語	280 41	280 41	280 41	280 42	240 41	280 40	240 40	240 40	240 41	240 42	240 —	234 —	240 —
充足率 (%) 上:普通 下:英語	100.0 102.5	100.0 102.5	100.0 102.5	100.0 105.0	100.0 102.5	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0 100.0	100.0 102.5	100.0 105.0	100.0 —	97.5 —	100.0 —

# 遠野高校

# 入学状況

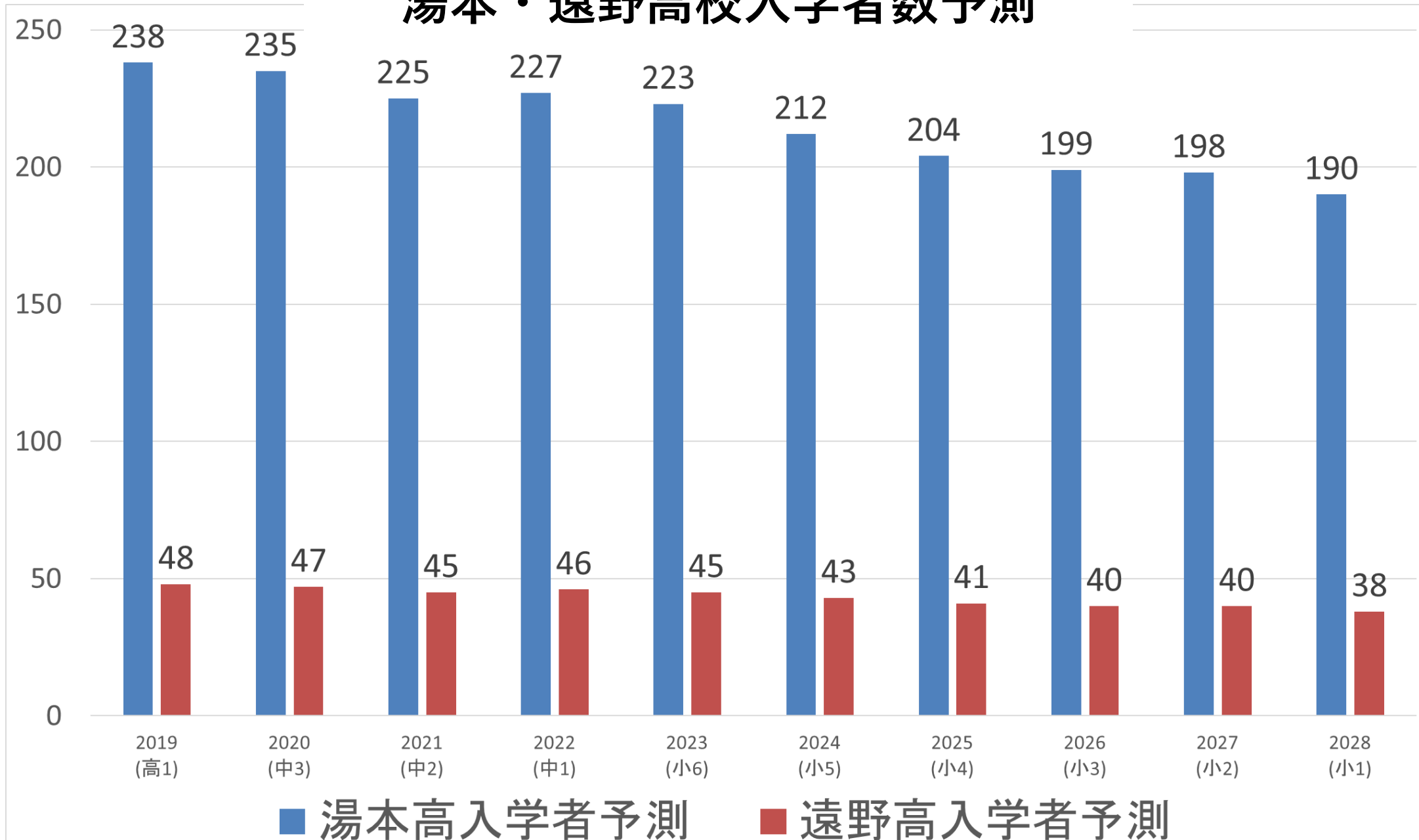
年度	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
募集定員	80												
入学者数	76	58	75	74	58	56	56	65	64	49	48	46	39
充足率 (%)	95.0	72.5	93.8	92.5	72.5	70.0	70.0	81.3	80.0	61.3	60.0	57.5	48.8

# 平成30年度湯本・遠野地区中学校別の高校進学者数

(平成29年度卒後の進路調査より)

	卒業 者数	進学 者数	湯 本	遠 野	磐 城	磐 城 桜 が 丘	平 工 業	平 商 業	い わ き 総 合	い わ き 光 洋	小 名 浜	い わ き 海 星	磐 城 農 業	勿 来	勿 来 工 業	好 間	四 倉	他 公 立 ・ 定 通	私 立 全 定 通	県 外
湯本一	110	96	18	3	7	15	5	5	9	6	3	1	6	2	8	0	0	3	5	5
湯本二	41	38	5	1	2	5	5	3	2	2	0	2	3	1	1	0	1	2	3	1
湯本三	26	24	1	2	1	2	4	2	2	0	0	0	7	0	2	0	0	0	1	0
磐崎	134	120	22	7	8	9	3	8	11	3	6	3	10	0	16	0	0	2	12	6
上遠野	30	29	4	2	7	1	3	1	3	1	0	0	4	0	3	0	0	0	0	0
入遠野	10	9	1	3	0	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	351	316	51	18	25	33	20	20	29	12	9	6	31	3	30	0	1	7	21	12
地元中学校計 の進学者数に 対する割合 (%)			16. 1	5. 7	7.9	10. 4	6.3	6.3	9.2	3.8	2.8	1.9	9.8	0.9	9.5	0.0	0.3	2.2	6.6	3.4
いわき市計	3,20 4	2,85 9	233	43	27 2	274	24 0	197	191	192	71	130	157	52	195	79	54	146	333	124
いわき市計の 進学者数に対 する割合(%)			8.1	1. 5	9.5	9.6	8.4	6.9	6.7	6.7	2.5	4.5	5.5	1.8	6.8	2.8	1.9	5.1	11. 6	3.9

# 湯本・遠野高校入学者数予測



### 3 今後の再編整備について

# 統合校の方向性

**湯 本 高 校**

定員 240名  
○ 普通科（6学級）

**遠 野 高 校**

定員 80名  
○ 普通科（2学級）

2022年4月開校予定  
**湯本・遠野統合校（仮称）**

**定員：240名      普通科6学級**  
**場所：湯本高校校舎**

# 統合校（案）のイメージ図

## キャリア指導推進校

**大学進学から就職**まで、生徒の幅広い進路希望に応えるとともに地域を学習のフィールドとした学びをとおして、地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材を育てる学校

### ● 学びの継承と充実

湯本高校の進学指導や遠野高校の個に応じた丁寧な学習指導など、両校の伝統を継承するとともに、地域と連携した地域課題への当事者意識を高める教育の実践

### ● ICT機器の活用とアクティブラーニング

主体的・対話的で深い学びの実現を図り、課題解決に積極的に取り組む人材の育成

### ● 大学や地域企業と連携したキャリア教育の推進

医療や福祉、スポーツなど、地域の様々な分野と連携したキャリア教育推進



# 検討する統合校の特色化

個に応じた丁寧な  
学習指導や進学指導

I C T 機器利用の  
環境整備

主体的・対話的で  
深い学びの実現

地域をフィールドとした  
探究的な学びの導入

普通科の特色化として  
コース制の導入

## 今後の予定

### 会議等のスケジュール

第2回改革懇談会（年度内）  
（以降必要に応じて開催）

### 今後必要となる組織

改革懇談会でいただいた御意見を具現化するための組織

- 教育内容検討委員会（両校の教職員で構成される検討委員会）
- ワーキンググループ（各校の校内検討委員会）